

講義シラバス									
科目名	ビューティマナー	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生		
講師名	大谷 奈津美	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校を卒業後、札幌市内百貨店のDiorで美容部員として経験を積み、社内資格であるスキンケアスペシャリストの資格を取得。その後、弊社で職員として勤務。 広報・教育・就職の活動に関わる。						
【授業を通じての到達目標】									
自らが美しくなるための向上心を持ち続け、自分磨きに必要な知識・技術を身につける。 幅広い美容の知識、技術を学び自分自身の将来像を明確にする。 接客に必要なマナー、コミュニケーション、所作、気遣いを理解し学校生活において実践できるようになる。									
【学習内容】									
目指す職業を理解し、その職業に就くために何が必要か考え実践する。 様々な企業、職種を知り就職活動に備え準備をする。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
Hand-book of Life Style、コミュニケーション検定本、社会人基礎力									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 目標設定を通して、自分の人生自信と向き合い自分のビジョンを考える。 ・人生ビジョンを考える(目標設定シートの作成) ・2年後の自分への手紙作成 ・クラス目標設定 (小テスト2点)				⑨ (6/21)	【到達目標】 自己分析を実施し、自分を理解し売り込む方法を考え伝えることが出来るようになる。 (小テスト3点)			
② (4/26)	【到達目標】 セルフプロデュースの大切さを理解する。 同じ夢を持つ仲間とコミュニケーションが取れるようになる。 ・自己紹介 ・お辞儀、挨拶、所作 ・自分磨きに必要な美容法を学ぶ(小テスト2点)				⑩ (6/28)	【到達目標】 接客について考え、自分が提供したい接客のイメージを持つことが出来るようになる。 ・OG講話を参考にイメージする ・目標振り返り、目標設定 (小テスト3点)			
③ (5/10)	【到達目標】 美容の職業について理解を深める。 美容業界につくために必要な事を知り、自分磨きを実践できるようになる。 ・美容部員、エステティシャン、ネイリスト、アパレル販売員について (小テスト3点)				⑪ (7/5)	【到達目標】 季節の書状を学び、お世話になった方へ暑中見舞いを作成し投函する。 ・季節の書状 ・季語 ・宛名の書き方 (小テスト3点)			
④ (5/17)	【到達目標】 様々なブランドを知り、美容業界について知識を深める。 ・ブランドリサーチ(化粧品関係) ・主な就職先 (小テスト3点)				⑫ (7/12)	【到達目標】 接客について考え、自分が提供したい接客のイメージを持つことが出来るようになる。 ・TOPサロンゼミを参考にイメージする ・地域清掃 (小テスト3点)			
⑤ (5/24)	【到達目標】 様々なブランドを知り、美容業界について知識を深める。 ・ブランドリサーチ(エステ、ネイル) ・サロン勤務と販売職について (小テスト3点)				⑬ (7/19)	【到達目標】 自分が目指す職業イメージを確認し、後期から自分を取りくむことを理解する。 ・自分が目指す職業についてまとめる ・夏休みの有効的な活用方法を考える(時間があるときに出来る事) (小テスト3点)			
⑥ (5/31)	【到達目標】 相手に与える印象について考える。 通勤時(通学時)のマナーについて考え将来の自分をイメージすることが出来るようになる。 ・入社1年目の諸対応 ・目標振り返り、目標設定(小テスト3点)				⑭ (8/23)	【到達目標】 自分が目指す職業イメージをまとめ、将来の目標設定をする。 ・夏休みの課題をもとに自分が目指す職業についてのプレゼンテーション (小テスト3点)			
⑦ (6/7)	【到達目標】 資格を取得する意味を理解し、資格取得後の活かし方を考えることが出来るようになる。 ・大学生との違いについて ・専門学校を卒業する価値について (小テスト3点)				⑮ (8/30)	【定期試験】60 前期を振り返り、自分自身の成長度をまとめる。 ・自分が心がけてきた諸対応、美容法の紹介を行いプレゼンテーション力を高める。			
⑧ (6/14)	【到達目標】 接客について考え、自分が提供したい接客のイメージを持つことが出来るようになる。 ・TOPサロンゼミを参考にイメージする (小テスト3点)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に 取り組む。 他者の発表を参考に									

講義シラバス									
科目名	コミュニケーション	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態		総時間数	30 時間
学科	トータルビューティー科			コース		学年	1		
講師名	中城 美香	講師 プロフィール	エステティシャン歴20年。エステサロン経営(市内2店舗)						
【授業を通じての到達目標】									
7月19日(金)実施『コミュニケーションスキルアップ検定』合格に向けての知識をつける。社会人において必要なコミュニケーションスキル、ビジネスマナー、一般常識を身につける。美容に携わる業界人として、常に自分の考え・意思を明確化することを習慣にし、どのような場面でもプレゼンできるようになる。クライアントに対して、提示された仕事内容以上のことを提供・提案できるようになるためにコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、接客マナーを学ぶ。									
【学習内容】									
一般常識、ビジネスマナー、コミュニケーションスキル、プレゼンテーションの各分野を座学とアクティブラーニング等にて学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
コミュニケーションスキルアップ教本、筆記用具、ノート。 上記と授業で配布されたレジュメは毎回必ず持参すること。					必要時に随時課題提出有り				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 ～オリエンテーション～授業の目的と到達目標の確認。自己紹介。小テストについての説明。 シラバス説明。美容現場におけるコミュニケーションスキルの必要性を理解。日々の意識付け。				⑨ (6/21)	【到達目標】 過去問Ⅱ(45分間)			
② (4/26)	【到達目標】 教本～コミュニケーションとは(第1章P7～11)※ノンバーバルコミュニケーション。基本対話スキル(第2章p14～40)※メラビアンの法則 コミュニケーションロープレ 日常生活におけるコミュニケーションの質を上げる。				⑩ (6/28)	【到達目標】 過去問Ⅲ(45分間)			
③ (5/10)	【到達目標】 教本～自己表現スキル(第3章p41～91) コミュニケーションロープレ 常に自分の考え・意思・意欲を明確化することを習慣にする。それにより、どのような場面であっても自分の意見を発言・プレゼンができるようになり、現場において自分の役割を最大限にアピールできるようになる。				⑪ (7/5)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第5章p125～157) 接客マナー。コミュニケーションロープレ 接客における基礎知識を理解できる。マニュアル以外のサービスがあることを知り、その重要度を理解する。さらに、どのような状況においても臨機応変さと可能性の幅を知る。アクティブラーニングを交えることで、実際の場面を想像し、行動できるようになる。			
④ (5/17)	【到達目標】 教本～自己表現スキル(第3章p41～91) コミュニケーションロープレ 社会人としてのマナーの基礎を習得し、実際の場面においてもスムーズに行えるようになる。				⑫ (7/12)	【到達目標】 検定直前 総合確認テスト(全80問) 得点不到達者は、別日にて補講有り。			
⑤ (5/24)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第4章p93～124) ビジネスマナー。コミュニケーションロープレ 社会人としてのマナーの基礎を習得し、実際の場面においてもスムーズに行えるようになる。学んだことを元にロープレをしながら身につける。				⑬ (7/19)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定 筆記試験(全40問・60分)マークシート式。全員合格必須。合格基準…正答率80%以上。 持ち物…鉛筆(シャープペン可)、消しゴム			
⑥ (5/31)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第4章p93～124) ビジネスマナー。コミュニケーションロープレ 社会人としてのマナーの基礎を習得し、実際の場面においてもスムーズに行えるようになる。学んだことを元にロープレをしながら身につける。				⑭ (8/23)	【到達目標】 グループワークをメインにプレゼン力、自己表現力、コミュニケーション力を磨く。			
⑦ (6/7)	【到達目標】 教本～社会的スキル(第5章p125～157) 接客マナー。コミュニケーションロープレ 接客における基礎知識を理解できる。マニュアル以外のサービスがあることを知り、その重要度を理解する。さらに、どのような状況においても臨機応変さと可能性の幅を知る。アクティブラーニングを交えることで、実際の場面を想像し、行動できるようになる。				⑮ (8/30)	【定期試験】50 定期試験(60点満点)筆記			
⑧ (6/14)	【到達目標】 過去問Ⅰ(45分間)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
小テスト対象:授業態度、学習意欲、忘れ物、遅刻等									

講義シラバス

科目名	フレグランス&ボディケア	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生			
講師名	木村 早紀	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校トータルビューティ科ビューティーアドバイザーコース卒業。在学中、札幌コレクションフィッティングアシスタントやベルエポックコンテスト本戦出場経験有り。 現在、フェイシャルエステサロン勤務フェイシャルエステの他にメイクアップの提供を担当。社内で行われたメイクアップコンテストにて新人スタッフの部、1位。翌年のコンテストでは総合2位の実績。							
【授業を通じての到達目標】										
フレグランスの歴史、フレグランスの世界観、フレグランスの基本、ボディケア製品について学び理解を深め商品についてプレゼンテーションが出来るようになる。										
【学習内容】										
沢山のフレグランス、ボディケア製品を試し香り、種類、違いを学び提案力を身につける。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
筆記用具、ノート										
日時	授業計画			日時	授業計画					
① (4/19)	【到達目標】 ～授業オリエンテーション～ ・シラバス授業内容確認 ・自己紹介 ・フレグランスの歴史と種類、正しい使用方法を理解する。 (2点)			⑨ (6/21)	【到達目標】 「SHIRO」シロ ブランドのコンセプトを理解する。2種類のボディケア製品の香りと使用量、使用感を試し2種類の違いを相モデルで提案できるようになる。 (3点)					
	② (4/26)				【到達目標】 [CHANEL]シャネルのフレグランスの歴史と世界観を学ぶ。 フレグランスの種類、ストーリーを理解し2種類の香りを試す。 2種類のフレグランスの違いを理解する。 (3点)					
③ (5/10)	【到達目標】 「DIOR」ディオールのフレグランスの歴史と世界観を学ぶ。 フレグランスの種類、ストーリーを理解し2種類の香りを試す。 2種類のフレグランスの違いをご紹介できるようになる。 (3点)			⑪ (7/5)	【到達目標】 フレグランス グループリサーチ 百貨店見学でフレグランス紹介の接客を体験しフレグランスの世界観を現場で学ぶ。 (2点)					
	④ (5/17)				【到達目標】 「GUERLAIN」ゲランのフレグランスの歴史と世界観を知り フレグランスの種類、ストーリーを理解し1種類の香りを試す。 お客様のニーズに合わせてご紹介できるようになる。(ロープレ小テスト5点)					
⑤ (5/24)	【到達目標】 「TIFFANY & CO」ティファニー ラグジュアリーブランドのフレグランスのリサーチを行う。 香りを試し、香りの魅力を相手に伝えられるようになる。 (3点)			⑬ (7/19)	【到達目標】 フレグランスご紹介実習 ここまでの実習で学んできたことを活かし相手のご要望に相応しいフレグランスを選んであげることができるようになる。 (小テスト5点)					
	⑥ (5/31)				【到達目標】 「LUSH」ラッシュ ブランドのコンセプトを理解する。1種類のボディケア製品の香りと使用量、使用感を試しお客様のニーズに合わせてご紹介できるようになる。 (3点)					
⑦ (6/7)	【到達目標】 「L'OCCITANE」ロクシタン ブランドのコンセプトを理解する。1種類のボディケア製品の香りと使用量、使用感を試し相モデルでご紹介できるようになる。 (3点)			⑮ (8/30)	【定期試験】60 フレグランスプレゼンテーション。 シートの出来栄、そしてプレゼンテーション力も評価ポイントとし、定期テストを行う。					
	⑧ (6/14)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
授業の取り組み姿勢、積極的な参加それらも小テストの評価ポイントとする										

講義シラバス									
科目名	トレンドコスメ&メイクアップテクニックⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生		
講師名	新井 梨沙	講師 プロフィール	自身のトータルビューティーサロンを運営しながらコスメ・メイク・ネイルの専門家として美容専門学校・企業セミナー・職業訓練等、美容教育に携わる。資格と経験を生かし技術・接客・経営・ライフワークに至るまで全てに特化したトータルビューティーの授業を担当しています。						
【授業を通じての到達目標】									
メイクアップの基礎を学び、化粧品・ツールの使い方を理解する。パーツごとの基礎知識を学びセルフメイク・タッチアップが体現できるようになる。									
【学習内容】									
化粧品の使い方、選び方、また使いこなす技術、基礎テクニックを身につける。トレンドを上手く取り入れながらセルフメイクから相モデルについても学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教材メイク道具一式・鏡・タオル・メイク検定教科書					トレンドリサーチ・定期的な宿題の提出				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】授業の内容理解				⑨ (6/19)	【到達目標】アイブロウ 相モデルで実践し眉を描けるようになる			
	オリエンテーション 授業評価説明・テーブルセッティング・教材の確認					アイブロウ③ 相モデル			
② (4/24)	【到達目標】ベースメイク化粧品について理解する。自分の骨格を知る。				⑩ (6/26)	【到達目標】チーク化粧品について・使い方について			
	ベースメイク① 骨格診断・ベースメイク化粧品について					チーク① チーク化粧品について 使い方			
③ (5/8)	ベースメイクを相モデルで実践できるようになる				⑪ (7/3)	【到達目標】 チーク 相モデルで実践しイメージ・骨格に合った入れ方が出来るようになる			
	ベースメイク② ベースメイク相モデル					チーク② 相モデル			
④ (5/15)	【到達目標】 アイメイク化粧品の特徴、使いかたを理解する。				⑫ (7/10)	【到達目標】 リップメイクについて・使い方を理解する			
	アイメイク① アイメイク化粧品					リップ ロ紅の役割・使い方・つけ方について			
⑤ (5/22)	【到達目標】アイメイク化粧品を使え実践できるようになる。				⑬ (7/17)	【到達目標】トレンドを取り入れたセルフメイクができるようになる			
	アイメイク② アイメイクセルフメイク					トレンドメイク セルフメイク			
⑥ (5/29)	【到達目標】アイメイクを相モデルで実践し、対人に対してアイメイクが出来るようになる。				⑭ (8/21)	【到達目標】トレンドメイクを相モデルでできるようになる			
	アイメイク③ アイメイク 相モデル					トレンドメイク フルメイク			
⑦ (6/5)	【到達目標】アイブロウ化粧品について理解する。				⑮ (8/28)	【定期試験】60			
	アイブロウ①アイブロウ化粧品について 描き方のテクニックについて					定期テスト			
⑧ (6/12)	【到達目標】自分の眉が描けるようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	アイブロウ②アイブロウ描き方 セルフメイク								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス										
科目名	ネイルテクニックⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生			
講師名	山本麻美 平川恵子	講師 プロフィール	・日本ネイリスト協会常任本部認定講師、ネイルサロンPRISM代表、福祉ネイリスト、サロンスタッフ技術指導(新人研修外部講師)、検定審査、スクール講師など長年にわたり携わる。 ・日本ネイリスト協会本部認定講師、長きにわたり自宅ネイルサロン経営の傍ら、専門学校での技術指導を続ける、ネイル施術の他、ネイリスト・ジェル検定試験官、着物着付けなど多岐に渡り活動中							
【授業を通じての到達目標】										
ネイルテクニックの基本を学び、ネイリスト技能検定3検定の合格を目指す										
【学習内容】										
ネイル検定試験3級内容の練習、様々なネイルアートのテクニックを学び、アート作品作成										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ネイル教材一式、ノート、筆記用具、色鉛筆、ネイルテキスト(JNAテクニカルシステムベーシック)、雑誌など					定期的に行う筆記テストに向けた自主練習(範囲は告知) ネイル検定試験3級に向けた技術練習、筆記対策					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (4/16・18)	【到達目標】				⑨ (6/18・20)	【到達目標】				
	ネイル道具の使用法を理解し、スムーズにテーブルセッティングが出来るようになる(テーブルセッティング、ラベリング、ファイル、スティックの仕込み、ハンドのチップ装着など)					ネイル検定3級の概要を理解し、検定用のテーブルセッティング、技術の手順を覚えることが出来る (検定要項の説明、内容、手順を練習) 小テスト5点				
② (4/23・25)	【到達目標】				⑩ (6/25・27)	【到達目標】				
	ハンドを使ってカラーリングとアートが出来るようになる(アクリル絵の具の使い方、アートの描き方、ハンドでカラーリングとアート) テキスト「ネイルの歴史、技術体系」 小テスト5点					ネイル検定3級内容のケアまでを手順通りに出来るようになる (相モデル練習)				
③ (5/7・9)	【到達目標】				⑪ (7/2・4)	【到達目標】				
	ハンドを使ってファイリングと綺麗なカラーリングが出来るようになる(指の支え方、ファイルの持ち方、ファイリング、ハンドでファイリングとカラーリング) テキスト「カットスタイル5種」 小テスト5点					ネイル検定3級の行程を手順通りに出来るようになる (相モデル練習)				
④ (5/14・16)	【到達目標】				⑫ (7/9・11)	【到達目標】				
	自分の爪を使いセルフケアとカラーリングが出来るようになる、ポリッシュオフの方法を理解する(プッシュバック、プッシュアップ、ニッパーの使い方、カラーリングとポリッシュオフ) テキスト「爪の構造と働き、皮膚科学」 小テスト5点					相モデルでトレンドアートが施術出来るようになる (相モデルで好きなネイルアートをする)				
⑤ (5/21・23)	【到達目標】				⑬ (7/16・18)	【到達目標】				
	相モデルでネイルケア～カラーリングが出来るようになる(片手5本に手指消毒、ファイリング、ケア、カラーリング、) テキスト「消毒法」 小テスト5点					ネイル検定3級実技全行程を手順通り綺麗に出来るようになる (相モデル練習)				
⑥ (5/28・30)	【到達目標】				⑭ (8/20・22)	【到達目標】				
	相モデルでネイルケア～カラーリング、ペイントアートが出来るようになる(片手5本に手指消毒、ファイリング、ケア、好きな色でカラーリング、アート) テキスト「爪の病気」 小テスト5点					ネイル検定3級実技全行程を時間内に仕上げる事が出来るようになる (相モデル練習、時間配分)				
⑦ (6/4・6)	【到達目標】				⑮ (8/27・29)	【定期試験】60				
	ネイルアートのデザイン画を描くことが出来るようになる(デザイン画作成、チップのファイリング) 小テスト5点					ネイル検定3級実技全行程を時間内に綺麗に仕上げる事が出来るようになる (相モデル練習)				
⑧ (6/11・13)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】					
	作成したsデザイン画に合わせアートチップの作成が出来るようになる(アートチップ10枚1セット作成し提出) 小テスト5点				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
忘れ物をしない										
授業前までに道具の準備、テーブルセッティングを済ませておく										

講義シラバス										
科目名	エステティックテクニク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生			
講師名	1組 西岡朝香・福平真子 吉岡愛美・山下千比呂 2組 山下千比呂・藤村麗	講師 プロフィール	札幌トータルビューティ科卒業。国際ライセンスCIDESCO・化粧品検定1級 アロマ検定1級等多数取得。大手痩身サロン(都内)高級リラクゼーションサロン(札幌) で勤務。売上、指名本数1位達成。現在は独立しエステサロンを経営。ボディとフェイ シャルのオイルマッサージを得意としています(西岡)							
【授業を通じての到達目標】										
ボディエステの基礎知識を学び様々なトリートメント技術を習得し実践できるようになる										
【学習内容】										
ボディエステの基礎知識を学ぶ(座学) ボディトリートメントの基本技術を習得(実技) お悩みに合わせた化粧品を選んだり、トリートメントができるようになる										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
教科書 2冊 持ち物一覧にあるもの										
日時	授業計画			日時	授業計画					
① 2組 (4/16) 1組 (4/18)	【到達目標】 * オリエンテーション * 自己紹介 シラバス、スケジュール確認 持ち物確認、注意事項など資料配布 身だしなみ、ワゴン、ベッドセッティング(ボディ用)			⑨ 2組 (6/18) 1組 (6/20)	【到達目標】 * いろいろなトリートメント化粧品に触れる * 化粧品の目的と効果を学ぶ コンサル～ボディトリートメント(学んだ化粧品を使用)					
② 2組 (4/23) 1組 (4/25)	【到達目標】 * マッサージの基本を知ろう * ご案内～ベッドへの誘導ができるようになる。 基本手技の目的・効果・禁忌事項を理解してボディマッサージができるようになる ★小テスト3点(身だしなみ、セッティング)			⑩ 2組 (6/25) 1組 (6/27)	【到達目標】 * 腕のトリートメントができるようになる * について学ぶ 上肢のトリートメントができるようになる ★小テスト3点(身だしなみ・セッティング・上肢トリートメント)					
③ 2組 (5/7) 1組 (5/9)	【到達目標】 * お悩みの聞き上手、引き出し上手になろう * コンサルテーションができるようになる * 実際にお身体に触れてみよう * オイル塗布～筋肉のハリ、むくみなど状態がわかるようになる ★小テスト3点(身だしなみ・コンサルシート作成)			⑪ 2組 (7/2) 1組 (7/4)	【到達目標】 * 腕のトリートメントができるようになる * について学ぶ コンサル～上肢のトリートメントができるようになる ★小テスト5点(身だしなみ、セッティング・上肢トリートメント)					
④ 2組 (5/14) 1組 (5/16)	【到達目標】 * 膝から下のトリートメントができるようになる * リンパについて学ぶ 下肢後面のトリートメント ★小テスト3点(身だしなみ・セッティング・下肢後面のトリートメント)			⑫ 2組 (7/9) 1組 (7/11)	【到達目標】 * お悩みに合わせたトリートメントやアドバイスができるようになる * お悩みに合わせたトリートメントプランを作る コンサル～お悩み改善トリートメント ★小テスト2点(身だしなみ・セッティング・プラン作れてるいるか)					
⑤ 2組 (5/21) 1組 (5/23)	【到達目標】 * 膝から下のトリートメントができるようになる * むくみについて学ぶ コンサル～下肢後面のトリートメント ★小テスト5点(身だしなみ・ご案内～誘導・下肢後面のトリートメント)			⑬ 2組 (7/16) 1組 (7/18)	【到達目標】 * ボディトリートメントをレベルアップさせる * コンサル～ご案内・誘導～下肢前面・上肢のトリートメントを通してできるようになる ★小テスト5点(身だしなみ・セッティング・誘導・下肢前面と上肢のトリートメント)					
⑥ 2組 (5/28) 1組 (5/30)	【到達目標】 * スペシャルケアができるようになる * ボディパックとスクラブの目的と効果を学ぶ コンサル～ボディパック ★小テスト3点(身だしなみ・セッティング・筆記 目的と効果)			⑭ 2組 (8/20) 1組 (7/22)	【到達目標】 * ボディトリートメントをレベルアップさせる * コンサル～ご案内・誘導～下肢後面のトリートメントを通してできるようになる ★小テスト5点(コンサル～ご案内・誘導～下肢後面トリートメント)					
⑦ 2組 (6/4) 1組 (6/6)	【到達目標】 * 膝から下のトリートメントができるようになる * 筋肉について学ぶ 下肢前面のトリートメント ★小テスト3点(身だしなみ・セッティング・下肢前面トリートメント)			⑮ 2組 (7/27) 1組 (7/29)	【定期試験】60 ★実技試験50点(ボディトリートメント) ★筆記試験10点					
⑧ 2組 (6/11) 1組 (6/13)	【到達目標】 * 膝から下のトリートメントができるようになる * コンサル～セルライトについて学ぶ 下肢前面のトリートメント ★小テスト5点(身だしなみ・セッティング・ご案内～誘導・下肢前面のトリートメント)			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
【履修に当たっての心構え・留意点】										
衛生面から肌に触れる物の貸し借りは厳禁 上記の忘れ物があった場合は見学となります										

講義シラバス										
科目名	スキンケアテクニク	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生			
講師名	飯田 亜美 佐藤 千尋	講師 プロフィール	◆ベルエポック専門学校TBコース卒業後、札幌大丸NARSで約4年美容部員として勤務。その後美容室SEAMでメイクアップアーティスト・レセプション・ショップスタッフとして働きながら札幌コレクションや大阪などのファッションショーのメイクなども参加。 ◆短大卒業後、美容部員として約3年勤務。その後パーソナルトレーナーとしてインナービューティを学んだのち、エステティシヤンの道へ。現在は独立し、サロン経営、化粧品プロデュース等を行っている。Mrs.関西コレクション受賞歴あり。							
【授業を通じての到達目標】										
肌の基礎知識・スキンケア商品の基礎について学び、肌タイプ・悩み別の商品紹介・フェイシャルマッサージが出来るようになる。										
【学習内容】										
スキンケアアイテムの理解・大切さ。スキンケアセルフ実習。相モデルでのスキンケア～ベースメイク実習。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
(持参物)コットン・ティッシュ・髪留め・タオル・ミラー										
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (4/17)	【到達目標】				⑨ (6/19)	【到達目標】				
	授業オリエンテーション。この授業で学ぶことを理解する。 スキンケアアイテムを知る。ベーシックケアとスペシャルケアを理解する。 グループワークで様々なスキンケアアイテムに触れる					【美容液】美容液セルフ実習を行い感触や効果の違いを知る。 自身のお悩みに沿ったアイテム選び。ブランドリサーチを行い様々な美容液を知る				
② (4/24)	【到達目標】				⑩ (6/26)	【到達目標】				
	【クレンジング】クレンジングの種類、違い、正しいスキンケア法を理解する。 セルフ実習を通して正しいクレンジングを行えるようになる。(小テスト5点)					【クリーム・アイクリーム】クリームの効果・種類、役割、使用法を理解し、セルフ実習を行う。スキンケアアイテムをお客様にご紹介する話法の作成方法を習得する。(小テスト5点)				
③ (5/8)	【到達目標】				⑪ (7/3)	【到達目標】				
	【クレンジング】セルフクレンジング実習。 実習を通してクレンジングの違いを自らの肌で理解し、お悩みに沿ったクレンジングアイテムを選択できるようになる。					【マスク・パック】マスク・パックの種類、違い、それぞれどのような効果があるのか自身でリサーチを行い理解し、セルフ実習を行う(小テスト5点)				
④ (5/15)	【到達目標】				⑫ (7/10)	【到達目標】				
	【洗顔】正しい洗顔法を理解する。 またどのような種類があるのか自身でリサーチを行い様々な化粧品ブランドを知る(小テスト5点)					【マスク・パック】マスクの相モデル実習を行う。実習を通して美容の業界で求められるお客様へのおもてなしや立ち振る舞いを理解し習得する。				
⑤ (5/22)	【到達目標】				⑬ (7/17)	【到達目標】				
	【化粧水・乳液】化粧水・乳液の役割、効果、種類、正しい使用法を理解する。 セルフ実習を行う。(小テスト5点)					【マッサージ・ベースメイク】フェイシャルマッサージの効果、相モデル実習で化粧品カウンターを想定したマッサージ実習を行う。ベースメイクへの紐付け。(小テスト5点)				
⑥ (5/29)	【到達目標】				⑭ (8/21)	【到達目標】				
	【化粧水・乳液】化粧水・乳液の感触の違いを実感する。 自身の肌に沿った化粧水・乳液の使用法を学ぶ。相モデルで化粧水・乳液のタッチアップ法を習得する。					【総まとめ】クレンジング～パウダーまでの相モデル実習を行う。				
⑦ (6/5)	【到達目標】				⑮ (8/28)	【定期試験】				
	ベーシックケアのまとめ。ここまでの授業で行ってきたベーシックケアの授業を振り返りまとめを行う。スペシャルケアを理解する。スペシャルケアの種類と役割を知る。ブランドリサーチを行う。(小テスト5点)					クレンジング～パウダーまでのタッチアップ試験。姿勢やお客様への言葉使い、立ち振る舞いなども意識しスムーズにマッサージを行えるかを評価基準とし試験を行う				
⑧ (6/12)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】					
	【美容液】美容液の効果・大切さ、種類、使用法を理解し、セルフ実習を行う(小テスト5点)				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
・積極的に授業に参加し実習を行う										

講義シラバス

科目名	検定対策(美肌検定)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生			
講師名	福平 真子	講師 プロフィール	CIDESCOインターナショナルエステティシャン・AEAインターナショナルエステティシャン 大手エステティックサロンで勤務ののち、専門学校でエステティックの授業を担当し、その 後現場復帰。資生堂美容室でリラクセーション中心のエステメニューを提供し、現在は札幌 市内のブライダルエステサロンで勤務中。							
【授業を通じての到達目標】										
皮膚の基礎知識を学び、美肌検定の合格を目指す										
【学習内容】										
美しい肌を保つための最適なケア方法を知り、美肌を引き出すための知識を身につける。 美肌検定に合格し、「AJESTHE美肌エキスパート」になる。 2年次に受験する認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャンの基礎となる授業。										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
美肌検定の教科書、手鏡					授業で学んだスキンケアの実践					
日時	授業計画				日時	授業計画				
① 4/16 4/18	【到達目標】 オリエンテーション…シラバスを理解する。自分の肌の現状を知る。				⑨ 6/18 6/20	【到達目標】 化粧品の選び方を理解する。				
	Chapter1 美肌とは？ Lesson01 美肌に見せる6つの条件 Lesson02 自分の美肌度をチェックしてみよう！ Lesson03 美肌維持に必要な4つのこと					Chapter6 日々のお手入れに欠かせない化粧品のこと Lesson22 美肌の第一歩、クレンジングと洗顔 Lesson23 美肌を育む、与えるスキンケア Lesson24 意外と知らない、化粧品のキホンの使い方と選び方 ★小テスト5点				
② 4/23 4/25	【到達目標】 正しいスキンケア方法を学ぶ。				⑩ 6/25 6/27	【到達目標】 化粧品にかかわる法律を学ぶ。				
	Chapter2 正しい美肌ケアの基本の「キ」 Lesson04 美肌ケアの基本「落とす」「与える」「巡らせる」「守る」 Lesson05 美肌を保つ適度な運動 ★小テスト5点					Chapter6 日々のお手入れに欠かせない化粧品のこと Lesson25 スキンケア化粧品の原料とその役割を知る Lesson26 自分の肌に合う化粧品を見つける Lesson27 化粧品を定義する業機法って？				
③ 5/7 5/9	【到達目標】 食事とからだづくりの関係を学ぶ。				⑪ 7/2 7/4	【到達目標】 セルフケアでフェイシャルマッサージができるようになる。				
	Chapter2 正しい美肌ケアの基本の「キ」 Lesson06 美肌に効果的な食べ物の摂り方を知る Lesson07 エイジングを減速！抗酸化作用のある食べ物 Lesson08 積極的に摂りたい！話題の酵素を含む食べ物					Chapter7 肌を巡らせるフェイシャルマッサージ Lesson28 フェイシャルマッサージの効果って？ Lesson29 美肌維持のカギをにぎる表情筋 Lesson30 実践！フェイシャルマッサージ ★小テスト5点				
④ 5/14 5/16	【到達目標】 皮膚の構造を学ぶ。				⑫ 7/9 7/11	【到達目標】 セルフケアでボディマッサージができるようになる。				
	Chapter3 皮膚の仕組みと働きを知ろう Lesson09 美肌を作る皮膚の構造と働きを学ぶ Lesson10 肌タイプは4つに分けられる！ Lesson11 美肌維持の要、表皮と真皮の機能 ★小テスト5点					Chapter8 ボディのセルフケア Lesson31 自分でできる簡単ボディマッサージ Lesson32 カサカサボディの乾燥対策 Lesson33 年齢が出やすいハンド＆ネイルのお手入れ				
⑤ 5/21 5/23	【到達目標】 自分と他人のお手入れの違いを学ぶ。				⑬ 7/16 7/18	【到達目標】 実際の検定と同じ問題を解いてみる				
	Chapter3 皮膚の仕組みと働きを知ろう Lesson12 加齢による2つの見た目の変化 Lesson13 年代別お手入れ方法をチェック！ ★小テスト5点					模擬テスト・フィードバック ★小テスト5点				
⑥ 5/28 5/30	【到達目標】 ホルモンについて理解する。				⑭ 8/20 8/22	【到達目標】 実際の検定と同じ問題を解いてみる				
	Chapter4 美肌とかかわりの深い4大ホルモン Lesson14 細胞の再生修復を担う、若返りホルモンって？ Lesson15 体内時計調節する、幸せホルモンと睡眠ホルモン Lesson16 女性の肌と切っても切れない、女性ホルモンのこと Lesson17 生理周期に合わせたお手入れで美肌をコントロール					模擬テスト・フィードバック ★小テスト5点				
⑦ 6/4 6/6	【到達目標】 紫外線と肌について理解する。				⑮ 8/27 8/29	【定期試験】60				
	Chapter5 美肌を邪魔する4つの大敵 Lesson18 大敵 その① 体調不良 Lesson19 大敵 その② 活性酸素を発生させる紫外線とストレス ★小テスト5点					美肌検定				
⑧ 6/11 6/13	【到達目標】 季節によっての肌状態の変化を学ぶ。				【成績評価の方法と基準】					
	Chapter5 美肌を邪魔する4つの大敵 Lesson20 大敵 その③ 女性ホルモンの低下 Lesson21 大敵 その④ 温度と湿度の変化				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)					
【履修に当たっての心構え・留意点】					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					

講義シラバス										
科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30	時間
学科	トータルビューティ科	コース				学年	1年生			
講師名	棚村 弘恵 (越野友貴子)	講師 プロフィール	【棚村弘恵】 講師歴は20年現在サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、脱毛を行っております。その他バリニーズマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を好きになり素敵になってもらえるよう努めていきたいと思っております。 【越野友貴子】 ラッピングコーディネーター、フードコーディネーター 専門学校や自治体、企業などでラッピングの技術指導のほか、料理広告撮影などに携わる							
【授業を通じての到達目標】										
現場に必要な気遣い・ショートテクニック（ショルダー、ヘッド、ハンドマッサージ等）について学び対客において実践できるようになる 様々なラッピング方法を学び実践できるようになる										
【学習内容】										
①お客様の状態を把握しお悩みに対してプランを提供する②考案したプランを提供する ②箱の包装、リボン掛け、贈答マナーなど、販売に必要な知識・技術を学ぶ 基本的なラッピング技術の他、箱に適した紙どりや、綺麗に手早く仕上げるコツを習得する										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具 箱・リボン・包装紙・カッター・セロハンテープ										
日時	授業計画				日時	授業計画				
	【到達目標】包装の種類や目的を知り、紙の切り方、合わせ包みを習得する					【到達目標】				
① (4/19)	包装の種類や目的について 箱に適した紙どり 合わせ包み（小テスト3点）				⑨ (6/21)	サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)相モデル・ショルダーMS(3点)				
② (4/26)	【到達目標】合わせ包みと基本の蝶結びを習得する 合わせ包み(うす箱) 基本の蝶結び、横一文字掛け（小テスト3点）				⑩ (6/28)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)相モ・ショルダー・ヘッドMS(3点)				
③ (5/10)	【到達目標】斜め包みと斜めがけリボンを習得する 斜め包み、斜めがけリボン（小テスト3点）				⑪ (7/5)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)相モ・ショルダー・ヘッドMS(3点)				
④ (5/17)	【到達目標】きれいに短時間で斜め包みができるようになる。贈答のマナーを学ぶ。 斜め包み(実践編)、十字がけリボン、贈答のマナーについて (小テスト3点)				⑫ (7/12)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)相モ・ショルダー・ヘッドMS(3点)				
⑤ (5/24)	【到達目標】リボンでオリジナルアクセサリを作ることが出来るようになる。 リボンを使用してオリジナルのヘアアクセサリを作る（小テスト3点）				⑬ (7/19)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)相モ・ショルダー・ヘッドMS(3点)				
⑥ (5/31)	【到達目標】 (オリエンテーション)今後の予定確認/シラバス確認をして目標到達を確認する				⑭ (8/23)	【到達目標】 カウンセリング・化粧品説明・ケアアドバイスをを行いメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる(手順の確認・タイムを意識する)(4点)				
⑦ (6/7)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(所作)相モデル・ハンドマッサージ(3点)				⑮ (8/30)	【定期試験】60 カウンセリング・化粧品説明・ケアアドバイスをを行いメニューを考案、実践し目標達成することができるようになる(手順の確認・タイムを意識する)				
⑧ (6/14)	【到達目標】 サービス業としての意識・役割と責任・専門技術者としての自覚を身につけ美容業界で働くイメージを見つけることができるようになる(コミュニケーション)相モデル・ショルダーMS(3点)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										